

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業結果（令和５年度実施分）

交付対象事業名		交付対象事業の総合戦略での位置付け				交付対象事業の概要					
地域資源を活用したシティプロモーション推進事業		旭市総合戦略において重点戦略の一つとして位置づけられた「故郷創出プロジェクト」の方向性であるシティセールスの推進を図るもので、本市の最大の課題である人口減少に対して必要となるものである。				官民連携によるロケ誘致・撮影支援を行い旭市の魅力を市内外に効果的に発信することで、市民の郷土愛の創出とまちづくりへの積極的な参加を促すとともに、農水産業や商工業などの幅広い産業の関わりにより、撮影支援の過程で発生する様々な経済効果や地元農水産物を利用した特産品等の開発と活用などの産業振興を図る。さらにロケ地を訪れた人々が特産品等の食文化に触れ旭市にさらなる魅力を感じ、ファン度が高まることで関係人口の増加と地域の活力が向上する好循環を生み出すために、地域一体となって取り組んでいく。					
事業期間		交付金対象事業費				うち交付金充当額				支出内容	
R5.4～R6.3		13,000,000円				6,500,000円 (交付決定額6,500,000円)				旭市シティプロモーション事業支援業務委託	
重要業績指標（KPI） の名称		事業開始前	令和４年度			令和５年度				令和６年度 増加分の目標値	令和４～６年度 増加分の目標値
			目標値	実績値(KPI増) 実績値(年度)	達成状況	目標値	実績値(KPI増) 実績値(年度)	達成状況	達成状況について		
①	新たな協議会によるロケ誘致件数（件）	－	+5	+22 (22)	達成	+15	+15 (37)	達成	官民連携による撮影支援体制を整備したことの制作者に対する情報発信が進んだことから、達成できた。	+20	+40
②	特産品等の開発件数（件）	－	－	－	－	+1	0 (0)	未達成	未達成だったが、飲食店業者を交えて特産品等の開発に向けたワークショップを開催し、次年度に実施するロケ弁事業の機運を高めた。	+3	+4
③	観光入込客数（千人）	2,156	+5	▲271 (1,885)	未達成	+10	+305 (2,190)	達成	新型コロナウイルス感染症が感染法上の第５類に移行されたことに伴って、行動制限が緩和されたこともあり、コロナ以前の水準に回復した。	+20	+35
④	移住相談件数(件)	114	+20	+46 (160)	達成	+20	+16 (176)	未達成	目標値には若干届かなかったものの、作製したロケ地マップを都内移住相談会で活用する等、移住に関する施策と連携し、概ね達成できた。	+50	+90
重要業績指標（KPI）についての自己評価						令和６年度の事業内容					
「①新たな協議会によるロケ誘致件数」 ・昨年度ロケツーリズム推進のため官民一体の組織「あさひロケーションサービス協議会」を設立してロケの受け入れ体制を整備したことの周知が進んだことから、96件のロケ問い合わせがあり、うち37件のロケを誘致でき、達成した。 「②特産品等の開発件数」 ・特産品等の開発には至らず未達成となったが、飲食店業者を交えてワークショップを開催し、撮影支援とともに食でおもてなしをするために地域の素材を活用したロケ弁を開発することとして、次年度に実施するロケ弁事業の機運を高めた。						「ロケツーリズムによるシティプロモーションの推進」 ・引き続きロケ誘致・受け入れ支援を継続して実施していくとともに、新たに誘致に成功したロケ実績を活用した観光ツールの制作を行う。併せて、前年度までの２年間の人材育成の成果となる観光ガイドを活用したロケ地ツアーを開催し、メディア掲載を企画した情報発信を行う。同時に、ガイドの育成を仕組化することで次年度以降の自走可能な体制づくりを行う。 「特産品等の開発及び活用」 ・引き続き、地域の素材を活用した特産品等のブラッシュアップを行い、撮影支援とともにロケツーリズムと併せた市内回遊・滞留のための情報発信やツール制作を行う。					